

— 渋谷の文化創造における、“場”と“活動”をつなぐ新たな要素を考える —
第1回「渋谷まちづかいサロン」を開催

2026年8月18日
一般社団法人渋谷再開発協会

一般社団法人渋谷再開発協会は、今年度より新たに始動した共創プラットフォームである「渋谷まちづかいサロン」の第1回を2026年7月23日に開催しました。この取組はまちづかいに関わる多様な分野の実践者を招き、これからのまちづかいに向けたアイデアを共に考え、学び、つながる場です。当日は地元、行政、事業者ら約90名が参加し、ゲスト講演、クロストーク、トピックス報告を通じて、これからの文化創造に向けた活発な対談が行われました。また、プログラム終了後には交流会も行われ、参加者同士の新たな共創に向けたつながりやアイデアが生まれる有意義な場となりました。

■ 当日の主要プログラム

● ゲスト講演「文化創造を紐解く場づくりや活動の他に必要な要素とは？」

【登壇者】満永 隆哉 氏(株式会社 HYTEK アーティスト／クリエイティブディレクター)

国内外の先進的なエンターテインメント事例をもとに、持続的な文化創造に向けた「エコシステム」の重要性や、プレイヤーの「楽しくかっこいい」という内発的動機から街の文脈を育てる「ゼロをプラスにする発想」が提示されました。

● クロストーク

【登壇者】満永 隆哉 氏 × 中島 伸 氏(東京都市大学 准教授) × 長田 新子 氏(一般社団法人渋谷未来デザイン 理事・事務局長)

日常的な拠点をベースにした多世代の交流、トッププレイヤーと次世代の自然な共存、そしてプレイヤーが主体的に活動できる「柔軟な余白(文化投資)」のあり方について熱い議論が交わされました。

● トピックス報告「渋谷ナイトタイム独自調査報告」

【報告者】渋谷カルチャーディストリクト協議会 委員 宮本 安芸子 氏(渋谷区国際都市戦略特命部部長)

渋谷におけるナイトタイムカルチャーや夜の街の現状に関する最新の実態調査結果の報告が行われました。

【渋谷まちづかいサロンの様子】



【参考】一般社団法人渋谷再開発協会 概要

1964年に前身の「渋谷再開発促進協議会」が設立され、1972年に現在の名称へ変更、2021年には一般社団法人化。渋谷駅周辺地域の将来像(ビジョン)を描き、長期的視点による都市再生の促進やまちに訪れる人々の活動のための場づくりを通して、職・住・遊における高い暮らしの質を実現し、「サステナブルな歩いて楽しいまちづくり」を推進。現在、約120団体・企業が加盟して活動